

3

森の自然を使った置物作り

鈴鹿市立合川小学校

鈴鹿市立合川小学校では、平成26年10月1日(水)、1、2年生26人が「森の自然を使った置物作り」に取り組みました。

子どもたちは、本田技研環境ワゴンのメンバーから、山の自然や自然保護の大切さについてのお話を伺いました。その後、枝や幹を切ったり、ボンドで木の実を接着したりして、置物やペン立て作りに取り組みました。

低学年の子どもたちにとって、ノコギリやキリを使うことは初めての経験でしたが、子どもたちの安全が確保されるよう、環境ワゴンのメンバーの方に指導や手伝いを行っていただきました。

この授業を通して、子どもたちは、自然のものを使って造形する楽しさを感じるとともに、自然保護の重要さを理解することができました。



山の自然や自然保護についての話



置物作り



完成した作品

時間	1時間30分
場所	図工室
対象者・人数	1、2年生26人
講師	本田技研工業環境ワゴン
内容	・山の自然や自然保護についての話 ・枝や幹、木の実を使った置物作り